

「飲み水はどこから」のまとめのノート例

* 本時は、「私たちが毎日飲んでいる水は、どのように届けられているのだろうか」という学習問題に対して、調べたことをもとに自分の考えをまとめる時間である。

* まとめ時間のおよその流れ

- ① 学習問題を確認し、これまで調べてわかったことを飲み水が届けられる順に書き出す。その際、それぞれの施設などの役割を確認する。
- ② 書き出した事項のうちノート中の②ダムと④浄水場を例にして、「安心して」「いつでも」の2つのキーワードを導き出す。
- ③ 書き出した残りの事項についても、「安全性(安心して飲めるようにする工夫)」と「安定性(いつでも飲めるようにする工夫)」に分類する。ここでは、2つのキーワードと線で結ばせる。
- ④ 分類した結果をもとに、学習問題に対する自分の考え(まとめ)と今日の学習の感想をノートに書く。その後、オリエンテーションの学習を思い起こして、次に調べたいこと(例えば「電気やガスも同じだろうか」など)をノートに書く。

今日の課題

学習問題について、自分の考えをまとめる。

【調べてわかった飲み水を届けるための工夫】 【仲間わけ】

① 水源林(雨が土にしみこむ)
→水をきれいにする、ためる

② ダム(水をたくわえる)
→雨不足にそなえる

③ ○○川(川は水を流す)
→川の水をよごさない

④ 浄水場(川の水をきれいにする)
→水をけんさしている

⑤ 給水タンク(水をためておく)
→高いところから送り出す

⑥ 水道管(水を流す管)
→水もれがあると、すぐに工事する

⑦ 家庭や学校のじゃ口
→いつでも水を使える

安心して
(安全)

いつでも
(安定)

【わたしのまとめ】

飲み水がわたしたちの家や学校に届くまでには、たくさんのしせつや働いている人たちのいろいろな工夫があることがわかりました。

工夫を仲間わけしたら、「安心して飲めるようにする工夫」と「いつでも飲めるようにする工夫」に分けられることに気づきました。これを先生は「安全と安定」と言われました。

【今日の感想】

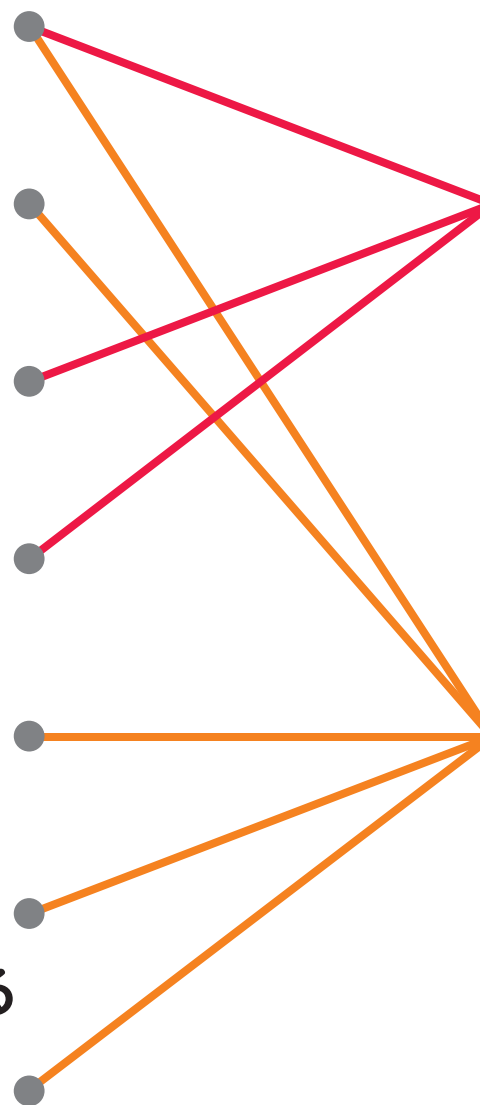
調べて分かったことを仲間わけすると、それまで気づかなかったことがわかりました。これからも仲間わけを使いたいと思います。

くらしに必要なものに電気やガスもあったので、飲み水のことを電気やガスにも言えるのか、知りたいです。

【調べてわかった飲み水を届けるための工夫】

【仲間わけ】

- ① 水源林（雨が土にしみこむ）
→ 水をきれいにする、ためる
- ② ダム（水をたくわえる）
→ 雨不足にそなえる
- ③ 〇〇川（川は水を流す）
→ 川の水をよごさない
- ④ 浄水場（川の水をきれいにする）
→ 水をけんさしている
- ⑤ 給水タンク（水をためておく）
→ 高いところから送りだす
- ⑥ 水道管（水を流す管）
→ 水もれがあると、すぐに工事する
- ⑦ 家庭や学校のじゃ口
→ いつでも水を使える



安心して
(安全)

いつでも
(安定)